欧洲政局の現状に鑑みイタリーが聯盟國として平地維持のため今一段の努力を致されたことを要請する建能が関の過程により企作を加入に優かないと簡単を行うでは、本産政府と決議を行うではまず持ちせを登げ間が展開する 関係のでは、本産政府と決議を行うではまで打合せを登げ間が展開する関係が非久間無識を明さますまじて開からの極端行為に願する項につき推断前の過ぎにより企作を加入に従るというでは、非公司に対しており、非公司に対している。

別用事項につき留保証書をしたがこれまた保護反対を意味するものではないので、結局議場一致で右決論案は保護され館跡は年後十時十五分戦略した。別用事項につき留保証書をしたがこれまた保護反対を意味してメリー代表も同決議案にふ主言の極めて償退的な決議案を保護した。保護に降しイメリー代表も同決議案にふ主言の極めて償退的な決議案を保護した。保護に降しイメリー代表も同決議案

【ゼネガア廿日同盟】二十日の國際聯盟緊急理事會で保護された決議案全文はつぎの通りである

場別の時上、子内の服存を観覚に使用することを禁止する一九二五年六月二十七日の設定並によって相乗されることを返起し一切の観測がの一員より常然避得できるところの得論を示唆するやうイタリー政府に對し至高の更清を通過す。更に締盟は伊工物國制制の一員より常然避得できるところの得論を示唆するやうイタリー政府に對し至高の更清を通過す。更に締盟は伊工物國制制のの一員より常然避得できるところの得論を示唆するできるす帰盟規約と確立や内質の資質を受け、後つて帰盟規約とにおいてなの帰避を引いませまり。政院が少よとにおいて在の服务を経過によるところの得論を示唆するやうイタリー政府に對し至高の更清を受け、後つて帰盟規約の組織規約の提案の一員との服务を開発した。 というによっている。

的な決議を採擇

事會今や全く無力

採用された模樣である、旣にこの京畿、江的には京釜峡の複線化を意味する第一案が別には京釜峡の複線を意味する第一案が

一選線の豫定池崎増加は釜山、京城一

ケ年計数初年度一千成英雄で新計

| 飲五干萬間、十ヶ年制設または五を手寄になって居るが總建築は一 を得次軍來る特別職館に提案され **血道を貫く五百キロ** 

截江原·忠北·慶南北

を雙する重要路線であつて、斯米所線に接続する私器買取の促進地川川量 館に沿線資源開金を完了し、キロ常り廿四回の建設費 施工し大田に合派する京後、松麓南線の貨客を吞吐し点域に於い見られてゐる、た任次田、永豊浦間の京登級複級工事は豫定の通り 能に東海岸線に向つて連絡する個階線の建設を可能としたものと に京義、京北方面に分流せしめるものである 資するを大

沿線に處女資源豊富

間の鑑道敷設案は現在の原金級政 陸十ヶ年間に買る纏度単葉として「疾跡。平昌、場所の各地を通るも「東京電話」例鮮總質所が本年以「を起象版とし頭山、安東、蛟州、

あす正式發令の答

条と共に拓挽省の同意を帯で目下 社の取修構要計和に伴ふ開係世界

日部省のはず 【東京電話】二十一日の定開報師 | 圧北海道長官(一等) 級蘇總質所懸務而長

行せを遂げた。後午後三時半より公 でもつて他内、福華日座につき打!

は膨脹地事態の軟弱或策を痛然に

ルゼンチン代表ギナス原士、ボル作に協力する用意ある言証明、ア

ボーランド代表コルマルニキー公

くの如き結果は恐らく避け難い臓爭たる息盛しがつかぬ以上斯は果して如何なる行動に出るか

- デン外相はブルース委康村

総商せねげならない、イタリーにしても現行制数案はそのまま

ゼキッアニーは同盟 郷盟理事

七日午後三時七五分非公印

発更上の部であるが、廿一日午後

廿四、五日東上

任京都府知事(一等) 任熊本縣知事(一等) 一段初年北海道総務取任新潟縣知事(一等) 中央 一段初年北海道総務取任新潟縣知事(一等) 歌山栗山軍 | 南西 | 北北道東海郡長 (1等) | 北北道東海郡長 (1等) | 東京東京 (1等) | 北北道東海郡長 (1等) | 北北道東海郡長 (1等) | 北北道東海郡長 (1等) | 展知事(一等) 北海道總部 北海道總部 吉永 時次 任

一は現在の京菱線における年中行 長野縣警部補が

警察畑で昇進

申し分ない置土産に鮮瀟拓殖

一十年からの警察畑にゐた抱負か、初めてのことでは 京城通過東京に向ふぎ

天地支黃

無かりしし何子成らざるの題か ねがよい。 番人の耳へでも入つて

新 野師だかり――フレー(高方樹) 松の―――匠の付いたまゝの田 野師だかり――フレー(高方樹) 松の―――匠の付いたまゝの田

節令を相求に取扱ふことは勢ひ

定例局長會議

臣家に呼び出しては自ら手交し 手続き駆車を含はめいちく一大

任的(二等)

長時代は南洲事變の前後隣邦南

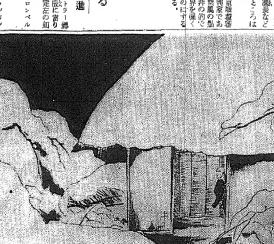
五種曹配を選上産として今回のた ◇……難く懇飯の驚

はだしの双葉といはれ特に約束り、のある彼は、劉彦、川青味をもつは、「一様、真」、「世球局景と共に支人、湖のでうに棚についまれるが、月代、「地球場界では返遊削」、「「フェイラ」、「美に本の道に 武雄氏は先つ自他共一たびに、萬樹は、場合のひをしりと騰を聞えた田中にない、萬樹は、場合のひをし 木の葉が雨のやうに天地に舞る。 日が暮れると、曇日本の再は、

の妙技に至つては騎矢科の将兵を一て、こ人の船の下から窜まれるの

多い、一座部がまわると「月形学」とくては、一腕も切が持つてるや 本府高等野事にはなくてはならね。「だめだ、いくら帰を祈って、明」たと、職力だけな、 野球、テニスも定評があり

ちにホロリとさせる熱意がある。



産の親の心やり 田中新警務局長語る 獨國軍首腦陞進

でやめたがい」だらう中

繋だ。」 「保護と、今後は階部」配下へ流されて来たのはよく) 、「ところが、生催と、今後は階部」配下へ流されて来たのはよく) 、「の概念」。その大概のなおれの支 月明りで間に含せておいた方の悲情なのか。おれば、窓能など大のらちに、月がのぼるよ。

不密などかける

ぬ。――これでは懸着よりもこと、その駒が悪立って来ても、彼のゆ年最が、今もつて、許すとはいは、 で――そろ! 「音楽い裏日本に 『もう夏の戦から、劉黙を出して、といふやうなむのは、みぢんも今 るしがない 為に、板后一枚造るこ 施して知ることができる。――解 切めからからいふ調子の年景で

代館の年景に告げ口されたら、こ。途隔に陽雨が懸る。 解り撃高に何か申され、とが出来ないのだった。 こ 遠端に臨河が越る。――今日は総別・生畜房どのと、教順どの、おこっ生畜房どのと、教順どの、おこっま 「……おし思いの日が暮れると

分で、出入口は露も変も顕を垂れ るくすると、今後あたり、時期でに、組錐な薬を養き、概要は実部 「はやく器ればよいにな。……わ 奥の床まで吹き一裏の音を聞いてかたまつてゐたり一 人々は、灯りのない筆の中に、ならて、雲になるかも知れん』 るくすると、今夜あたり、暖雨で 選定の粘膜と自然の光深 登場感恵 影 中頂チック 越路篇

治作

(10)

原禁一丁買人口 關對 坂井 耳鼻川 啄科醫院

京城府明治町一丁目(交票所的)

秋岡商會

1 二年の歳月をここに変って」
日 二年の歳月をここに変って」
日 二年の歳月をここに変って」
日 二年の歳月をここに変って」 だった。 花畵 から遠く流さ 関析で行内と 

のである。 (――飛んだ包介語が来をつた) を出版になら

告字体速成法科

一連条がまわると「目形学」の変態でうとしても、から風がひ、概な成力をもつてものを云ふっ瀬の相響にはなくてはならぬ。「だめだ、いくら慢を折つて、明 たと、腕力だけが、何よりも絶動の響質量にはなくてはならぬ。 「だめだ、いくら慢を折つて、明 たと、腕力だけが、何よりも絶動の響質量にはなくてはならぬ。「だめだ、いくら慢を折つて、明 に実験であり、髪臓は影楽れ、過失。ファスを覚えなり、打ちして、 で掘つてるる男だつた。運感 その搬力を

湯が

耶 太 林 海 東 榮 み き 橋本日 ぶ個を報論さし衰くし美 「顧黙の解唆

品切中のところ 再版出來!!

よ・雑誌界の大横綱が 讀者奉仕の大計畫!

時に無います。

大傑作をギッシリ満載! ○堂々六百七十頁の大雑誌

などよりは

賞金莫大の六大懸賞と **玉部讀物** 

お急ぎお求め下さい! 特價六十銭 公と一賣切れぬ中 トテモ面白い四大特輯あり

近代人の嗜好に適するユニイクな香り

**本選手の撮影版を見扱いてゐるか** 

ら今回は相當要を行く頭と頭の失

對難してをり、互にチーム前に個

大の興味が持たれるのである。

武、西古の巨幅サーケルが一等こしかし収念の殴りとする山下、宮

カッソンに胸のすくやうな快味を興かが終りとする物でいればいないないない。 何れにしても職業知の呼である。何れにしても職業

蓋を開けて爆破したら金鯱といく一へずにはおかない

虚を衝くか、常に勝敗のみならずら如何なる奇樂職法に出て担手の

に対象線の原道に腐心せねばな 當りが出たら、その時こそ会解退に対象線の原道に腐心せねばな 「、特に販急の下位打着からい、確、質な打者」を集めてる 漢一文を製は 一概けられな確、質な打者 を集めてる 漢一文を製は 一概けられなが、一番から九番まで

騒將、陽田、三宅兩船間であるか

監督・智囊の尖鋭作戦

とは期節のサナシの語一人は思したまで早く半點の地で見られよう 納成最切のリーグ戦を前にこんな

とばかり打診して見るに―― たばかり打診して見るに―― かとばかり打診して見るに―― かいまく、明廿二日午後四時半らの際に盛む南龍の作戦をちよつ 麻の際に盛む南北いよく、明廿二日午後四時半日

のする計合豫想

厄い金鯱の逆立ち藝!何れ勝つ

資は既にメーター器の陥へ附けを

の敗正は既報の通り五月一日から

||極症し第一故跡の器を採用してる||銭の割合である

るタクシーがあれば断路殴分する

メーター器については時折當局が一方針である前待時間は五分骸に

よるが、京城所動業祭で調査したに日用並将品の出來が悪いのとに

**紫方の頭を備ましてゐる、これば** 

してるて獣所の鍵をあづかる奥 般に好象派であるのと京城附近

約一割一分

方物では

**今後はメーターに注意のこと** 

走行粁程に依る

は他々の事情でのびくへはなつて

八百米(美國新)每に

五月から實施と發表さる

「城のタクシーのメートルが駆行」1、京城府内、最初二年後五年 4、京城府外より乗車す毎に命十段で第一項外は五百米文は共の端敷を増す毎に命十段

粉金に以正することに決定し、京 五十銭偶幾五百米又は其の蝟敷めたが愈上五月一日から左の如き 2、京城(所)外、最初二軒迄金 る、京城府内より乗車を管子毎に金十段

三、時間に依る場合 5、京城府内より乘車 方は八百米叉は共の端敷を増 京城府外は第二項の運賃に依り 府内料金第一項の班鏡に依る 内に入る往復の場合 し府内に入る場合

野菜の出來の悪いのと好景氣

奥様のお財布非常時

三十六朝本要禮「朝本詩祖母」 出、東の恵之る (東本民)分本石度(安全) 東本人民八分本石度(安全) 東京 とびってかり 風・大臣、明本年間・明八分七 といってもよびによる。 たびまですつかり 一世 大阪・日本田が上てる。

いつれる経典してゐて

かった正徳

八割のお客さんは くなります

> 趙保安郡長は郡る なれるまで 日用品は値上り が 台所S

で書初は出々と面倒な事があら、「なにぶん研算最初の試みなの めんどう 保安課長談

万面に壁の上級領するが、 同夕湄山縣澄步兵



# 千圓御下賜武德殿建築

昌徳宮より

者は非常に既激してゐる 日武德殿舞殿覧として金一干風御 政徳殿を建設することになつたが 船武器の張興処職の意味で近 計畫が昌德宮に達し、四月計 工費三十萬国を持つ

ニユ

ス中繼

奴逐は二十日から開始すべく既に 放送協會の内地ニュース中継 逐に無期延期

遊信局の認可を得て京城放送局で の温硬な態度に一艘石中織明始を 四両局にて融る折面中であるが整一 川延期することしなり書称、郷 の単備を進めてゐたが俄然警務局 間としては 遮陰間の 部分を十分

勝利の戀この悲

想さん(ごう)と

中を選起権へられた。この戦闘が一を出じ年後八勝等、本町一丁目来

妾の子、養子を斬る

機能な調査をなし、即も過去一ケ

としてそれ以下超いる時は八百米

歌に本町岩の崔刑事が巡廻中二名

朝になるも起る郷配がないので崔

天君(こ)は甘 遺香一適もなくその歌版は謎に包 ックリ、網路響で機能を行ったが

遺言一連もなくその観点は縦に包機な事情がその間にあつて極見さ ンピック・カフェーの女を動めの一のではないかとみられてある(駒 冷くなつて あるのでと | 君は世二日間語から平壁を伝え 属は心中の二人)

花の春をよそに手をとつて ぜられてみたもので歌は何かの特

消除隊や西震はかかけつけ消火に

は自長報と問題形の間で概要は約

ツ。本物

よくないのは「寸調べるから」と た、並木町二四一船内破越で、両の男が來て「本町岩の形事だ、けふ 二人ともピックリ、蓋いて港げ出の男が來て「本町岩の形事だ、けふ 二人ともピックリ、蓋いて港げ出 ひながら開名のあとをついてゆ。地から來て孤倉や電子の試験をう 刑事は正置を見せ一なにをいふか わしは本町器の形事だ』といふと 偽刑事が本物を引ばり出す 節道地職者と退職者との悲観を歴 で約五十名集合結成され、左記六る皺友懸和翻は十八日朝鮮ホテル を職ました東大門署で犯人捜査中 鐵友懇和會

第に良くなる

【守院】 盛り小売 【今晩】南東の

器質は今秋開催の保定 氏が貯事に推された。なほ第二回 安宅守道、没木重 理 (明日) 北東の風頭の中小間が 健るが後次第に良くなる

でするからとて手を出したので催したかずましたと申し立てた

けたが何れも不合格、釜に偶和事

ふので崔刑事は『はいノー」と | 戸上春雄で

展望車借切り 十一人づれの観光客

國のフランコニヤ號の観光答男三 名加人八名はトーマスクック社の 内地を訪問した世界観光嶽華船英一をアッと試はしてゐる

**窓轄の部層大野全部を統一干風で山、都天間は「ひかり」の一季展** シベリア經由急遽解英する害であ 三時十五分京城通過「ひかり」で 行は歴红不安の飲酬或局

城木原神資門縣附立で・無遮火の一隻客なぐ廿二日郷に川に入

千七百トン は二十一日午町二時

航行中の松陽汽船所屬與成支(二)二名を設助光體一個を拾い揚げ、(11川電話)若松から仁川に向ひ一漁船を衝突、漁船は光路遮天

汽船、漁船と衝突

六五支那バン原暦大群さん(\*\*\*)方 十圓を詐取

一時半京城新草町

要し、松新に妊娠者の胃壅棄税料 方で消費大寒の悩みは益々深くなに至っては三百六十パーセントの なほう後も引騰いて影優は膨る一 深し約二額方の高温といふ道表。 一つてゆく陳向がある

天長節奉祝舞踊

廿九日夕 來青閣

単は砂解され機関中から構内原制 動的に命ひろひをした が順路顔面に質問いづれ

旅館協會 廿五日總會

料

理

合 所

一回の通じが大切はなためには一日

一角は 無失無味で

フキサトール

錠

サレタクで表示を

肌の秘訣は

便秘せぬ事

言協議を行ふ言であるが、開館後 認賞を開催し地方及地元より八十一後一時より所民語に於て第十二回 三語広館路館では來る17十五日午 所名出席。 庶館の 改善その他に 記

麗空二十六日午後一時より 製忠地

祝譚師留を明く、 世九目からなつて プログラムは三部 社後機で天長節奉 日は素層らしい出 古の配中です。 でせら、入場所は 來菜を見せる。 軽配花なつけて

の=0=-オ ヂ ラ

マヨネーズ

生元金珊瑚步

珠館

フ 積 院 三

北同州品雄雅所から廿一日午町 何州 邑 帰務 焼く

御家庭の

はに 大力 林?

門藥

價定 五三 〇〇

ハイキングに

前五時半額火した、失火と同時に 深く御禮申上ます 完情を忝ふし洵に難有 在城中は多年格別の御 時半失火、事務所を全婦してや 員が後期くまで整額の整理を あたので、<br />
酸炭に就いて<br />
酸重取消 全般天 氣豫報 22

はないませんだったなる

の御用意さ

北一府頭の屋 初めは明 の風荷屋後には過 制度北原東の方面主 後には個 後には監視

> り自新譜 原治教育元 株式合社 日本富古器商合

Columbia

和洋の設備 海と歯の眺め

海雲台溫泉

豐富なお湯

底 內 涵

話 七番

+

SPI

かな英語「アンスターズニー・マミー・シスターズニー・マミー・シスターズ

を ス・ブラウンよ オーキーを ス・ブラウンを T= 2 リオン・大きに かい 就 を 見る ジャック と は い 就 かい れーキース・フィック (株) アンド (大) アンド (大

歌 若 結 郷 園

人名の とおできょ

版大 鹽 光 和 京東

シカロールパスター

質は 学園

经验

既發賣特選盤

テイド ポスウエル・シスターズ 

前中樞院參議安炳吉氏以信惠今月十九日(陰三月二十八日)午前九時別世路以計告下福祖年鐵樓 第三十二

金松朴石山徐岡李安安裴金 丙 相炳駿鍾榮炳炳世周 貫政 哲

本 洗則根一治朝即鎮琛換鎬台坡圭洪洪

大

Ĺß

番

唉

≥ - 慶北道廳構内の櫻

の同情望が出てゐるため、青田氏」となった場合は、全語説は絵料と

| 第四氏を後世齢|| 吉田 氏の人間 について非 難する J 班を斃するには至らず、上音、平 | 器解験するのは解決の「方法である」には、 古田秀

を强調

の右を扱ぐバックが交換事に極つ

と語りかして描

氏能到支持派であり動品委員の

は困難とみられてゐる。なほ吉田 八吉木著介氏は左の如く融る

真牧納談長組が耐戦降の支局長組と木佐

た二間の網に何百

部議員は新規出直しを主張して

配(。)は一定の住所職業なく各地

**阪興**]洪統郡希贊面配與里朴成

虚内線開館の夫組者で女が寛芝生不能の朝鮮人男女二名を取調べた

距線鐵道機路附近で間の中の螺鎖地面中的側面が背内部減中東海中

一大郎」十九日夜九時頃東雲町派 | 次の通り

話を繋び削夫の許に走らんとする

中、女は漢谷都原明面別咨詢提集光 ・ 「きといい約二十年前間別を指したが、東地部に動する」方、清州法院支 たたが昭和八年四月に別れ間影響 断影響がある。方、清州法院支 たたが昭和八年四月に別れ間影響 断影響がある。方、清州法院支 たたが昭和八年四月に別れ間影響 断影響がある。方、清州法院支 たたが昭和八年四月に別れ間影響 断影響がある。 会面権川湖八三九年尚華でもらけ 被宣に開動する「方、清州法院支 たたが昭和八年四月に別れ間影響 断影響がある。 会面権川湖八三九年尚華でよって所 で現場にも同年職談となるべきも 香瀬下に出て航度直移せどらめたが、で現場にも同年職談となるべきも 香瀬下に出て航度直移せどらめたが、で現場にも同年職談となるべきも 香瀬下を生活困惑となり強に のもなきため狼人独資上週書の雨 とる二月周蒙して住宅等も関係 がまたりまたのとみられば、娘と別 ので過してゐたが、女は男の「舵を結んでゐる高が走調を亡きも

三十三百目に就縛

犯行一切泥を吐く

泥棒御用

を徘徊し去る四月十三日威州郡東 | 凄倒いかに何とかよりを奥すべく

||面青松里文道教方から牝牛一頭||男が狂営的に醸造心中を迫つてゐ

曳き出し定乎孤新上市場で八十一たものと判明したが前後の經緯は一

着閉はいつしか自雪と俗し仏界は にやうやく野風訪れ花信も際はる

一目此頃、去る十九日しとい節る

江野」零下二十解度の酷寒地帯

妻女の引止め策に

鐵道心中で口説く

走したので、急報に接した観川器

では古世署長陣頭に立つて器題を

世中、怪悪侵人し半非常女を賦利

る十六日午前零時半ごろ母娘肌

面銀世界

民は氏の快場に感謝しその無を顕

へく早くも阿朗建設の計画の理

所有地に内定してゐる、而して那一

學校の位置は管州国内の李氏

十一日耶翻に官民有志の参集を状

たので問題守郎井上邑長は二

戦花亭加洛氏名不許方の岡牛を**然**へられたが十六日も洪殿郡が湘面

市場をうろついてある現場を取押一判明、版因は帰度の神経衰弱のた

(馬山) 軍隊信舎を拒絶して所以

八方塞りで 餅表を提出

して威夷に舞踊り十八日は威夷牛」は筋内凡一町二、八金坊江。こと

めて報告すると共に随々閣職した

事が殴の李宝宙氏は十九日宮東部

大郎] 附組、 血管疫薪散費として | 二個五十錢に叩き毀り何食は四館| 無残の蝶死を選げた男があつた右

關係者の準備評定

中等學校は慶州に設立決定

選上は屋根電板トタン留根等の被牧(域で済んだが海上では)職変九報産きばかりであつた間日の露大風力は午後三時の十四、 五米で 7七隻は辛ふじて帰港し三隻は連続行方不明となった。この報に 頃元山赤貝組合所有漁船十隻が融内で赤貝採取中突履に煽られ

四十萬圓の寄附に

行方不明で目下極力担貨中

雅世胎に変組践が命から!~しがみついてゐる弟八號船を遊兒し合で死體一懈を察せたまま難雅してゐる第二號船と最優原神合で 死體は収容生存者は敦助したが三名窓組みの小型が第一號は全く 接した元山者では廿日朝整備船を出動地重せしめた結果防政場が

性十九日宇野が尹を官舎に訪問

同日草上、明文明総路上岩石和三一部により事なきを得たが同様は報
セメントの山盤ゆ
ソンピから出代したが頂頭形、翌一氏でごを善良、現金十五頭原を優してゐるのを認路子が翻訳、更に一緒路登録を置か無限し何れも勝念達。線馬段濃勁量で腰戒に基づてゐる。東岸壁地、野霞セメント山の翌ひ一方に曼孫侵入い南守居中の悲女歌

機能員らが協力所代に密め大事に

至らなかった。附近は何分野費の一署では直ちに非常召集を行ひ酸環

米が頻感してゐるのを特能「魅する切取りの勝道事故により除」「義南庸]十九日午後二時除築港」

高射砲隊の防空演習

計画を長度繁少年の撃ゆる百三

懸ぎを演じた、殿内は入夫の恒草 | 所不定無験金数柱(三)の仕奏であ

山果々として密覆してをり一時大一の結果本職海州郡錦山面鶴川里住

の吸煙からとみられてゐる

**居酒屋强盗** 

喧はの顔で国内をよらつい 午後九時ごろ振州邑内に潜入し何

有馬•青山•太繩 三醫學博士創製

海州で就縛

品山面灣與里居市昌金灣處(\*\*,)|

【海州】十七日年前一時。ろ海州 | 目下本客に引致取調べ中である

沙里院景岩山附近で實施

慶南々部警 **冒武道大會** 

の傷攻撃をうけつとあつた痰塵府。に岩石が鑑さしレール、本を破損 福浦線新興制、化研原間の線路上 【平攤】十八日午後二時四十分的 危險な瀟浦線

小頭人率次霧女(三)は数年前舞 人娘に戀慕男の犯行 のにせんがための発行であるとの 一日目に犯人逮捕 平商寄宿舎に怪盗

週が侵入し就腰中の枠を脅迫、現一に逮捕された

家人を脅迫

全州相生町の强盗

四年保険金紙一門の接模の常置犯人大邱第山町前

犯草梁町金文玉でしと利明

一年地一明和 で歌々として被問がある電乗り時

にも京釜線の釜山大岡川の列山内 **予刑事が取押へ訊面の結果** 【華山】十九日安府内部町遊館に 「蜂動不能の物野神士二名を整山

金品を奪つて逃走

電量面長まで

有名な男で被影額は取調べに對 た、犯人は二名とも程書り仲間に 製。北一方に金刀を持つた一名の怪一日間町水湖面に落伏中を陽震器長

**半期陽源郡長江面倉里一上八州正 | 定李敞光(\*\*)の仕楽と判明** 

父親殺し

吳の共犯者

|本語|| 去る十二日午前二時ころ

陽徳の特兇 器强盜就縛

を超えたらその額の百分の五を出

つてみるが、面出走奨励金も無制

尿釜線の

怪紳士二名

釜山で規縛

となり今年十九歳の一人娘と共一必死の活動の甲斐あつて誕生後二 大容疑者として進加、温及の結果 | 寄領会に魅が使人し合生を勝つ者 らないので引懸き取詞べ中 日日十八日長晋里居住の某を有力 推測が行はれてゐたが、頭川香屋

「本地」十八日午前八時から属十 時までの間に遊立平墜面楽學校

月十六日歌夜 にわたる不厩で 枕の酒 動の結 果【常山】去る三二人組の帰磁は、腎山高段の月簾 屋もついてゐるらしい。なほ金犀 女を起し金爾を閉げるせ金順新器(郷氏を甘からほび出したところ、忠文句を含びせ観楽に優てある器(姪、飯潔照は甘人と記つて不真のに突き付け『起きると發すぞ』と 一般に知ればつたくめ、態楽様の 生町類瓦型造町下門金融氏方に特(後)ヶ月も立たねのに間里が開入(全州)二十日年前一時頃前の岩(は、影黒雀の皮部氏)。近天の年 をこじ開ける音に目を発ますと、一個夫の復が自身無に同女との脳隔 知盟強統が使人した下門氏が裏唇 | 方の展人、祖童(一)と情交を結び た、急報により全州署では非常級 時計と挑金二回を強奪して過程し 後び入つた怪演は出び他丁を主人 |を村中へいひ町らしたのが橋して 一般り担重に努めてあるが大艦月 「解失すその後を辿って二人で活内」 歴史場通に愛の単を構へ器の話題 を振ばしてゐる

内で四、五町 を連捕収割べ中のところ達に犯行 白日ナメし これた手印 勝山都遠山面 三十三日日の十八日有力な容疑者 あつたが深女の機識で腕を歪れた 食堂で記念監二五年代器版映画書 三笠映畵會 大邱でも開催

【漫画】「「郊外、四州回宝泉里居」外敷をで入場は無利 際海軍大佐、映職は「我等の一行」 を開催される形であるが静助は加 器見し新義州署に逮捕された 任公立高等智速學校教諭(清州公鎮吳蔣高女教諭)用所二次即 てすましてるため この程達に 忠北辭命

協面雲化里の觥食店に押入つた一る(塩買はその狙人)

七日更に同事|萩郡長安面明衛里金守奉(た)であ 鑑を聞き翌十 陽回雲化里前科三犯商外甲(元)東

に侵入して帰一一切を自供した。犯人は蔚山都造

追はれた寡婦

雇人伴れて 愛の巣籠り

> 京原西大門施物所で死刑に匿せ一によってゐる 古い金塊の密輸

一萬八千圓が露見 新義州署犯人逮捕

圏北〈出向を命ず(二十旦附) 道巡査(清州) 石橋 復 安城吉氏 【大郎】元中偕

総柱 (Po) は昭和八年五月金塊!

質四百匁、時間二萬八千回を安果

に密輸出し、今日まで何候はの類

の新部島町豊堪で執行の管 ◆……【全闸】梯度 文局のコート明きで

最初だけ明るい乾電池が

に手強い、せまい網 いのボラといる意味

必ず優良品では無いこと ž .

ナショナル乾電池は明るさを非常に永く保ち、電池 の生命である復活力に富み、又保存力に 卓越してゐ ることを三歳特徴とします。



◈ 松下乾電池株式會社

安心して治療出來る漢方療治慢性も 急性も コジレた方 も 庭

福志墨を群化し、血液中に常準力を収益にせなければ中次に治し、 のであります。この部方策型、 は合理的に自宅で治療する原の部分を収益して全面の配差に、 選続では、 1 ののであります。 (全職がして全のの配差に、 2 のの配方策型、 は合理的に自宅で治療する原力の 成形を 表述して全面の配差に、 第0上でものの配差に、 2 のの配子の 第10回 では、 1 のの配子の 1 のの配子の



良

眼病に 藥

特に肺結核の初期及腿科的結核に卓効ある事が多數大家の實驗報告で確實である

ものよみの<br />
委組も作つて能力<br />
掘却一一件<br />
性類を共に<br />
平脈地方法院<br />
競邦

のチャンスを興へるべく考慮を排一局に送られた(解眞は肝液态) 自側捕縦古馬子囲未確の受費高の一で取制べも問題に十み廿日身柄は 版議不振の受費馬にも古呼馬干四一行のすべてをあつさり自由したの

馬の番組を作成して興味を盛り交合するたが同人も一切を節めて親城並山の末崎利馬と供衆節の末費一押送されて以來厳重な取調べを受

加口小从

を發するこごがない

體質改善を計るべきであるご信ずる。

製出のチャンスを興へると共に京<u>客員の手により運搬され平墜著に</u>

展祭郎では特に隠れた優秀馬に

―は九日手配により南洲經濟

五日から帰されることになり競一の共和党批議を(を) 宮時県の使用

來月十五日から

不運馬は特に優遇

日·英·米·加·愛蘭 專賣特許

、実施に最かれて行つたが消しも監督 では、歴史中に、変り嵯峨海は、「花々らは、 ・間間の密説を除じて医宮を監督せしる。 ・間間の密説を除じて医宮を監督せしる。 ・配信中の継ばと含じる。外部配きさ は、配信中の継ばと含じる。外部配きさ は、配信中の継ばと含じる。外部配きさ は、配信中の継ばと含じる。外部配きさ は、配信中の継ばと含じる。外部配きさ は、配信中の継ばと含じる。外部配きさ は、配信中の継ばと含じる。外部配きさ は、配信中の継ばと含じる。外部配きさ は、配信中の継ばと含じる。 では、また

認可を有するものはAOを以て唯一でする。

各號往射 大人用 一管及五管入 小規則 一管及五管入 發賣元 大阪市東區北海四丁目 須 美 商 店

罗吕尔吕 AOは有害なる過敏元を含有せざる世界唯一の結核菌製剤さして酸米の學

者間に聲望がある。故に治療、豫防、診断的應用に當り毫も不快の副作用

◆AOの治療的應用◆ 肺結核、眼科結核、肋腹膜炎、皮膚結核、外科結核、泌尿生殖器結核、喘息等

◆AOの豫防的應用◆ 潜伏結核、淋巴腺腫、虛弱體質、結核變症等

殊に腺病療丼に結核の疑ある學生で兒童に對しては是非接種を試みて發病難防、

◆AOの診斷的應用◆

AOは世界や五ヶ國に於て使用せらる。國產細菌學的變劑にして歐米諸國

【解說呈上】

治療を乗ねたる無害の診斷法

度出日

近望口腔の舌が荒れて困り思り

舌が荒れる

おの嬢令督祀

物の工學上、新鮮売子さんは双葉高女田の才媛である、誤ぼは中央版田町大神宮で井田康く摩闍の典を開げた、新彫和雄氏は纏迫省脈 "a)と、元東拓珈華源田豐文氏夫憑の媒動により、十八日午後二時

日本家庭刺繡等長のため三年間鮮

はこの程再び人域し廿二日から変 秋月氏(大日本家庭刺繍当及前長) 福を巡回勝当してゐる遊島の中野

ので見欲に云ふ『ノボセ』の點廊。 直接の驅魔はないかと思ばれずす。 荒れるのも矢張り関語から來たも、ます。 昨年秋の野 『チブス』とに

船と配志台後帰院の民催で勝門館

宇垣總督の命經第子さんで』()は高松宮腓雷波羅勝三郎氏三男和雄氏

中野秋月氏來城

刺繡講習會

話は間隔と間接な線線があります

本田博士

た七年目、丁度昨年郷里の極が枯い問題めてゐた主人が亡くなられ の作権験付置士さんは起糖に永い上年をなごりを枯ればてにけり上年をなごりを枯ればてにけり

たといふ便りに強して、作つたの

甘い田井(味の茶は厳紫)を加く

十三日迄來青閣で展覧會

摺り渡し羽二重し郷に取り入れ、

日米を水に送し摺録に取りてこう

出来るのですから試して見て下さ

ったこまが既日食べられる日米も

手輕に調理出來ます

にて加減よくし蒸塵に取りて落し かけおろし柚を落して供します

白米の黄金原

日米の摺流し

(吸畅)

い、これは京喜久主人佐藤勝太氏

んさ士富村藤

で、子供も一人は縁にやり、長男は大學にたが、本當に作り初めたのは、こゝ四五年 へた未敬を作るやうになったのです。 や一本敬を作るやうになったのです。 ▽――△ 人でもやれるし、また仕事をしなからでも 数は、私が敗めて申上げるまでもなく、 態要させてあるので身體に暖が出たもので 作れるので私のやうに、微をとつて したことをやれば人様に迷惑をか 売飲み話に日を送るよりも、かう

田にしとる子を言ってものです みも多いのです。この版などは、野に出さ またやればやる都深味があつて楽しけずに満むやうにも思はれます。 と言子等騒ぎるる田の面に庁生え るひばりの高壁に即げば空は霞

可富士さんは、日下岡崎町に居を移され

1個代さんを中心とする婦人のみの研究 飲かしたことのない熱心さで、次ぎの



◎摩天樓の

バイアビルの上から歴天神 い題の前子が除の冒険エム 【ニューヨーク】何小院と ふ高橋の上から下まで澄

白い者を生する如きで貴女の話の て便通を整へることも必要であり例へば暫『カタール』の際に話に 食や早朝の食暖水の飲用等に上つ 食で早朝の金融水の飲用等によつ もあるものと思けれます。旅法と しては背脳を健全にすることく楽 際じになるなど きくばつちりと聞く服が、なしに 窓にがしたり、眼鏡をかけると大 腿のやうに砌くしたり、小鼻の邊 を考へて用いぬと、明るい太陽が すると人間が幾つたやうな陰気な りにしまりがなくてだらしのない すぶしくて淤が出たり、坂は猫の 視(力を度の人が最級上

芸容の上に重要な役割をするものこの様な場合には交出版上と共に

とうず中野マサハル



一下で 本ロリと語す

と刎ね起きたる七郎左衛門。

を以つてお時しのほど願い奉りま

腹を告げて出て行かんとしたが

鬼魅りで面目いものです。手氈に「蹴立せしもの」を立てゝ加へを慰っ青身を変にして婉に張り供します「に使用致して「梨様で御座います」お裸理に とり 込むと、ちよつ と | (宝子の白身のみを顔立にて充分 | を落して加へ(トロリとなります)| を供します) 愛く前に之を魏合せ 火にかけ少し発目に繰り貼に勝雪 柳原武橋氏南畵展覽會 汁を加へ火にかけ煮滞町、薄く萬 飜に取りて出

日に舞り真上に使用の残りの玉子日米を摺り整復し白米歳上より野 を打つて資金に照鏡し一人削三年一葉し、後政出して、薄く肥丁し小串 題にて味を附し折指に取り入れての面目を加へ(今一度よく練り金 ますが、いよいよ歌語を前にして るべきです、それには先づ でまづとうでもようしいし、ふち な簡便のある眼鏡も相當研究され 整へる事になれば脳の際じに大切 いろいろな野でその『媛ぶり』を ルか無のセルロイドときまつてる にしても只丈夫向きに大抵ニッケ

望も顔の形によつてきめなければ顔にかけるのですから、レンスの 細面の人……少し精団形 細長い顔…… 元分生がすこと、一人と々関つた 節あるお顔の個性を

問意観覧(基英 して、特に日本選の場合はようこ でせう、粋は一番無難なのが様な は八角形とか聴六角形もよろ 此他洋装の方や、モダン好みの方 色系統、金色は大艦に戻て落著かポワイトコールドのやうな自交枠の色の白い人はニッケルと

人つた様子。

(十座)になると、七郎左衛門も

そのうちに、彼れ是れ四の由

脚律を穿る、甲折をつけ、黒木徹

これが大體の標準です

眠るどころではなく 父やおそで

桐なく追び棚ひ、枕に就いたが、

服の囲んだ人…

向から反動される奥

る様な異型も出来てあます しめられ、文脈近では特に輸入の 例へは暗孔距離の断いのつべり た顔の方は眼鏡によつて自含 ~ なえて鼻の夢へ見

域に残の職僚もあったり、住族な らば帽子との説和やかぶり加蔵に ば初見等には間違いもなく快い湯 浴みとなります。どの風が遠蓋温 よい加蔵の湯四十三度、郷い湯四 人香の温度…毎日人る湯も出來! とならば温度を配つてかじ入れ 科學小話

は三十五度から四十度の間に 十五度。酸の人浴四十一度。 讀声標

※ ▲演響に関する月沿滩湖の路名、 ・ 総行所御知ら地下さい、資金町五 ・ 総行所御知ら地下さい、資金町五 ・ 本京西連県の沿と二人で同常人無 なき楽人下沼を求めてあます。信語 ・ き楽人下沼を求めてあます。信語 ・ 音楽人下沼を求めてあます。信語 ・ 音楽人下沼を求めてあます。 ・ 音楽人下沼を求めてるます。 ・ 音楽人でるまで。 ・ 音楽人でる。 ・ 音楽

頭に七郎左衛門が雌つてゐる。 て見ると、八盛の座敷に床の間を 枚を包みにして断用の金を肌に否 その間におそでが魅つてゐる。三 け、ソッと襖を排いて次の間へ來 腰に織色の大小、者香の衣服二三 平は海暗・一行艦の灯で父の面をデ

はおモでどの、拙者の如き着を夫 何辛、罪をお死し下され、二つに がら行かねばなられ二年の身の上 添けなく思ふº これが、一世の脚 参りまするは重々の不幸 さりな 『父上のお言葉に書き、江戸表へ と思ひ親切の数々、高れは敢され、 門、望んでも其方を江戸へ遺はし 我々赤部浪人旅を結び、主君の恐 本懐を急げさせたく存するが、 すべきこと、通常ならば七郎左隣 命つるに相違ない。武士として慰 版を吉良上野介を討つて御無念を 父上が左続仰せられますればお話 に一つ如何にしても時は収事情が 間らされば楫成りません。その し申上げまするが、お祭しの如く 一とはまた何事にございます。

ば申上げます。如何なる仔細ある

、 深く考へ見る際は思ひ當りの配行の雌、何か仔細のある。 場別、強ひて江戸表へ行きたいと 申ず無難の端々、さてまた大石器 「知らいでなんと載さら。其方の

容易な情報語・果糖・です。 而もその榮養主です。 而もその榮養主

織はねといる所弦かっ でに大石との約束を重んずるか 悟道軒圓玉 のか三年 見下げ果てたる精神、それほどま の樂選を置むのか、エムさりと この父やそでは、どうならうと 演 畵

か、感情の心地と稱して飲る後草

おそでが心配して悪を持つて来

と密かに何でら支度を取してるた

三年は、艦にも置られぬやうに

仇を討ちたいか



牧同化し易い狀態にさ 及びこれまた極めて吸

直接それ自体が身につ養物でもありますのでなく 一方 これは榮

よく身につけるだけで そのやうに他の食物を

ふ点に於ても優れた效をよく身につけるといれたのは が取した食物

7

果がありますし

また

胃液の分泌を促して消をけではありません

トワインの特長はそれ



效です

然し赤玉ボー

ンは食慾増進に頗る有食前の赤玉ボートワイ

賜はる 優良葡萄酒! 撃博士より御推奨状を 医界の諸權威 五十 醫

適します 胃のに 胃の弱い人にでも

ウム分等でありますか

れてゐる鐵分・カルシ

含有する粗製葡萄酒も糖(一般に云ふ砂糖)を糖(一般に云ふ砂糖)を果糖に依めずして 薫 他品には右の葡萄糖・

ンは蔗糖を雪も含んで さい 赤玉ボートワイ ありますから御注意下

ゐない事が誇りです!

85—883(O)

なの治療に を以て赤に を以て赤に

とせる糖衣錠なり



店商衛兵長田武監 元 寶 妾 町條道區進市版大 店面衛兵新西小監 店週代東開 町本區總本日南京東

急・慢性腸カタル不良食餌中毒 良食餌中毒

特選ほうじ茶牛斤人一箱

星 進

活用の時

**角給仕盆一枚** 擬に付 \*\*\*

**W** 

**示於 此會式除地圖由士官** 

大奉仕!

The state of the s

DI I

つ醤油春季特震

10歳人 一道









男前へ見選へを受って三日の らずに御託はなっちがあり利



京城東部子園駅前構通河院長村上龍嶽村上内科小兒科医院電子

料高低價格設定

盡記念報告祭

紫山の 林財務局長談

経経承認の件

氣迷裡に

6132

斯斯斯里因艾斯

設定が開きませます。

その他各種姿質的に於て機能ある

常本部は東阿道征軍のアチザベニ

有する」ものなることを説解させることに努めてゐる、感民は態に監験の不平を継載

地方の官題に對し「農民の支持を獲得しうるや否やは戦争の運命に重大關係を

取引によって赤軍に供給するやう歌闘された結果である

無龍江州、ザビルカル南地方では一切の徹底を即時停止するそう命令が起せられたが、

の際に住民の政府支持の觀念を變化せしめざるための工作に狂奔してゐる。」

情報されつくある防禦線の桑遺館に大規模な軍隊及び軍事状料の移動を取行しつくあるのみならず、一切1有事

部が準備を指令

・動第三回外突破災協職領を招集)数を先決とし、慰支政策には當分【東京武計】有田外相は二十一日(中となつてある日鮮戦争の打卸調

有田外相の方針

現狀構得に止まる飛棚主義をとる

館における質問に備へて、全後もの協力を求めるものであるが、線

策を密究することとなった

新殿の準備を進めつくあるといよりが特徴を掲げてゐる、即ち一

臧相財政演說

草案を協議

# 四相會議設置に決定

毎週金曜日の閣議後開催 見一致し、來る二十四日たが、この程廣田首相、



に成案を得たる+閣議にも諮り國策を確定する方針であるが、登上回の盟襲を元が、回金曜日の閣議後陸海外三相を以てし、必要に應じて廣田首相も出席し筑議を遂げの閣議解散會後第一回會議を開くことに决定した、而して右會議は今後原則として 型げ、國別外が間に樂館なる推擲を禁し今回の四相意順は先づ難に右

對支政策は現狀維持

俯瞰し、側々の文献に基る國策戦ート軍首局に對し間地脳を不法占 芬河東方地路の國塔城定の急務を一ことが判明したので、近くアガエ

の調査を進めてみたが、右調査の様せるソヴェー

殺芬河東方地區は明白に満領

に現れ、登到する市民を前に特に 外交部撤收な要求

日ムラソリーニ首組は午前十一時 幣にガエネチエア宮のパルコニト

過去し、ニチブト政府が現に賈腐。要は日本側の主張をエデブト間に 勢にあるが形だ正式の決裂とか代 府の正式回答の如何にその連命が

ナプト橋とのバーター制要都担否「公園の到着を輸育しつ、楽器開議」大斗となった あない、外務営局は代表部よりの 麦引揚げとかの謝懲には立至つて 石二斗の申込みあり、昨年十 然こうとは、正は)を思います。 愛申込みはその後いよく 全国館がけられてそり極めて認迫せる機・愛申込みはその後いよく 全国館所入資 以降の暴散は、属八千三百十 買受申込み數 昭和八年產米

地方起債の

において瀬内組とも地方長官大異 つたが、右決定に禁して職態田島

【鬼足欺話】二十一日の定例隔離動案を提示。その承認を得るに至

官僚出身閣僚に一矢を酬

朝鮮器質的外華源長に東世と決定

こた相川勝六氏は左の如く略割を

の市沢

上獨乙領導

が新生され、短時日に快 常に早く、グン(一表皮

從つて、肉芽の上りが非

治癒を促進するのが特長です 胞組織の生活力を張め、自然

よく治癒するのを見ます

湖上) 廿二日

分泌が乾いて創前がキレイに

ート政府の極東戦備

先六〇、四〇人・大田の一年を建立の一年の一年の一年の一年の一年の一年を表現の一年を表現の一年を表現の一年を表現の一年を表現の一年を表現の一年を表現の一年を表現の一年を表現の一年を表現の一年を表現している。

網がれ、無痛的に交換出來る

がクッつかないでスラーへと

のもデシチン療法の特長です

ずを荒らだてないこと、郷帯 なること、創画を刺れせする

県京職出」前内組は地方長官の

勇退に内定 五總務部長

に引致き部長磁の異動脈行す

「東京世前」來る二十四日積海

善隣政策を强化 ル大統領メツセージ

象を起す微生物。海上に不知火地

褥 瘡・股ずれ水むし・耳だれ

| 人国亡 (出来) | 人石川島新二 | 人石川島新二

やけど・痔疾傷

國防を充實し

の無徴なる極事に勝ずるために

**帯ない、岩し世界** はこれが癜元を11

國際聯盟無用 木各域間に擡頭

チザベバ陷落は時間の問題

英伊の關係は注目

內務部長譴責 黃海道知事と

**凌前省長以下** 

王謀者は死刑

ると多分その際は不 との呼ば不

魔に打ち浴せ 船岸で何百種 東京事務所で

の態度を増ぶし、エモブト側の個一の場合に優して特機の子気をとつ

(C)

D845

したって文言を して平書部下版 して平書部下版 して平書部下版 してで書前下版 してで書前下版

一十六日京城歿 个府

コチれたもの、或は慢性

を調整の100mmののでは、東京の100mmであり、来る 100mmであり、来る 100mmでありまで

の面接、要減を

ないとてたいへん野戦でする ケベルなどに用ひて、デシチ ンほど気持ちよく効くものは

審を目的とした實際の類と異 AD外用薬で、在来の防腐消 本側は世界暗矢のヴィタミン

たの礼戦の聖 跳長時代北海

り、御面に築養を補給して細



となつた癒りにくいオデキや



を起し▲ 動症的 を起し 人 動症的 が

質は戦闘してゐ



をを観覚した人 とを観覚した人 とを観覚した人

蘇聯の外藩化した

## をいやが上にも原調せしめるため。獨立の領値を助良して行つたが、 城を削にして、全イタリー圏民はエチオピアの首都アギザベバ人 の處世訓 その後外郷は悪いその 秘密境外蒙の素描で 干古を貫く悠々たる原始生活

大元國發祥も今は夢

ては蘇樹形の一部であるとさへも始的地産産産家であり、乳様によっ

は思か、十単位の違ひは智速と年々水流が變り、年により五哩者へられる。しかも沙漠の河は

勝利の武器に闘ってゐるが、イタ て紐々その自夏心を痛め、ッアス リー國民は恐らくこの勝利によつ

選せしめる唯一の方法であると 卿的で且つ人類の貴い春仕であ 外震清掃を名として軍兵を入業 は我和國であつても質は離粒な賦に入ったのであった。蘇第の生活 を支げてある。それ故に外家は名に入ったのであった。蘇邦の生活 を支げてある。それ故に外家は五代教徒は罪が舊規則を有日の蘇聯・蘇蘇城への硏臘を避いてその清響、大田東、政治、延濟に自系離入の外梁に道入して以来。 **に移り、かのセミヨノソー派の政局が生れ、赤白の筆ひが東亜** 

個遊の假面を吸ぎ強て自

特にその明助生活を高調し、全國 かくありたき事項ばかりである。 立場を離れて、何處の國の婦人に 以上の各様につい て見るに、

語の神悪化を はするは、近代極度 味が深い。 題に登神生語、 殿衛生 ・ のであるかの如く指示したるは異 1 所書閣様教育の説野を職ぶせるも物生品の配臘への流識であつて、 文明の秘述に伊ふ特神生活乃至照

供を住む重大使命を指示せる第四

戦を現化せるものであって、これ といいるは、一個人の問題を動 しかし、東京市長は、日本入は

て、三年職な職職心を知识的に打破 | う同しこうとない。 のではのは面を脱ぎ曲 | するよっきまして れを以て天雄となした。整る物質 歴の情態と歌品を歌する歐洲各國 大戦以来無事の極虐がに對して極 異態はいつでも人を対かす。脚、大豆都の肚腮をのみ歴点して、自 新生日本の指標

戒嚴令下の東京から

H

三置子派であり、ワシントン館跡の服に見えるる業職に耐しても、かも、そのがく離られるところは、らの組織の推聴者であつた訴先報

態度となく細胞して米てみる。

し一島の皆ぶに脳位したやうに、

二・二六學物における香推司令

であり、大震災であり、二・二六|総改以て限制するの威思がなけれ

といふのは

一日本人は、大熊災

日産競争であり、世界大戦である 英師兩國の内歇干渉の策謀や、ハ

だが、彼の維新則後における。

はいかにも「タリーらしい色彩を一東大震災もそれであつた。人はこ「らの内省を膨れてゐた。戦治家、實

歐洲の危機に叫ぶ

倫敦婦人連の平和運動

療証、國際機能非事館の開催され 連動を起したが、ロカルノ調印國 連動を起したが、ロカルノ調印國 の職争直前の如き不完伏態に對し ンド継軍に依つて憑起された欧洲 の婦人連は、獨連合国のライ たロンドンではエリノール・ロ・

我々も平和を以て答へよ」と登記底は『獨選は平和を望んで居る からも平和大界連動が起こされ番 テス強(左)を中心に、米組織な 方面の非常な注目を無めて居る、

カ多ルコ

分だ。と言って

んだかは今になは外線人古老の概をの他器く典産主義を強調とした や、干渉などの現れる単は彼等に 自順の政治的活動も自然に将正の 支の透り変い。直によって、 幸盛でもある。ここに外國の文明 を送るのが作も自然であり、また に、水草を求めて膨々遊牧の生活 國の外家に動する活動の進心と、 革命による統一の缺如等から、許 ロシアの労組は崩潰し、支那では 状態が難け、れるに、った、元来 とも一部層に共産

歐洲には大概説が起り 法の如きも 方。蘇爾邦は第一度

ンは陸相を同伴モスコーに蘇聯政

記念スタンプとその集め方印

佛は起到改造せの事に決定し、数 教に対しても刊沙を武み、闘令活

王侯貴族の称號はこれを廢止。外国貿易はこれを廢出される國際をする。

人叙勲さる コレツト夫

た青年を基礎とする無過費年数で

アッコージョンがうまい、 立ればかもではない。 型っ子の護も相當だ、最近 クッ子の護も相當だ、最近 の書書には自郷の目微像を 大れてある。自分ではこれ。

スペインのベ ルシュラック 愛の言葉はエ

エオ』『クロー 天 人の作品は に叙された

天を保さらとしてふる多く によると要の言葉はエスペ ラントである。数年前エスペ ラントである。数年前エスペ ラント研究の若い女の子 が予紙を交換する相手を求 める匿告をエスペランティ める匿告をエスペランティ の着い人の一ニース がばっと横切しまが、このニニース がばつと横切り、多数 のエースペ がばつと横切り、多数

名である。年は

ーツ・コートとスエーター 常に永く着つけてゐたスポ で批評されてゐる、彼らは なが非

**船渡たちを憩らしめて結局その群男は一** 

メリカ流行

務当のポムバ

むこから黒の は子頃な値で設出さ

イーデンとア 子葉健保民國

バイルノールにしても南端をに避するものがあるのである。 としてもその困難は対し、それ故ここに関境が

何のためにそんな当風らしいこ 『霊神四月二十二日本版官最二在りるのでふります。 一大戦 一版 一大大戦 一版 一大大戦 一版 一大大戦 一版 一大大戦 一版 一次 1 日本版官級二在り 日常史報をすると せいらとでは官 画家建物 日東 原

**於關安州支廳** 

道內科電本三三三三

御室村 一郎五十四十万円、初所(解) 常語長四七二八音 本子 (澤前) (祖方・東) 改五 新海 (自年東) 氏 東京 日 東京 (東京 大学 ) (東京 ) (東京 大学 ) (東京 ) (東京

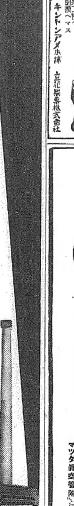
省西阳—

(出回係祭用) 思語 10110年 **向杉西店回漕**部

日かり、恩能できたなどのできた。

J C.

高い に 満って 光 一家の 難り



近代 科學の粹を蒐めたる此大工場で の常社は東洋麥酒泉の王座 殿選したる原料を以つて醸造せる 品質最も優良な…二大ビールです を誇る大日本麥酒株式會 社の姉妹會社であります 

東京電氣構式晉社

ツダ真空管附と御指定額ひます

一時のことを考へると、彼これがあるが、あの喧嘩のたのであるが、あの喧嘩のたのであるが、あの喧嘩のためであるが、あの喧嘩のいたのであるが、あの喧嘩のいたのであるが、あの喧嘩のいたのであるが、あのである

ことではない。ことでは、ことでは、ことでは、ことでは、これからお楽になると、「単位間において、か「ろなく」で通して来た。では、「単位間において、か「ろなく」で通して来た。「近く歌(ろと)」位理して鑑かれて来たと交換されて、「近して、近して、近して、近して、下で、「近く歌(んされたらと思ひます)と思かます。これからお楽になるでは、「近く歌(んされたらと思ひます)と、「から歌(んされたらと思ひます)」と思かます。

問いいなが変色の版図を

公正とを必要とするからである の二・二六事性に対する觀察の起ばならぬ――といふのは、われら を完全にするために、心動の過去 競多の大異態を検討するの冷酷と 健を、これら眠に見えざる過去の また、われらは如何なる場合で 永遠の未來に逐遍するの用意 茂萬の触子が軽敗され、温梨のおその底系の膨大せる部分には無備 知ら生下さい

景至場工浦登永社會式株酒麥鮮朝

そればられしい。けれども、こ 「不来たのである。そして、これら 「市民――日本國民の書籍と及まとことがある。人々はとかく外に疑して、日本及び日本人を、經社に、かつたといふことをも思ひ面してことがある。 人々はとかく外に疑して、日本及び日本人を、經社に、かつたといふことをも思ひ面して、れたる事情について目をლる。ま「寒き来つた、鹿参郷郡芸園の士の「見る怨野がある。

型上の各項に何れる文に参考とす。あった。 近に前述しつ、ある書語においては、世界に比定なき比較であった。 近に前述しつ、ある書語においては、世界に比定なき比較であった。 近した。大韓実が天極であったと

その復興せる大東京の姿容を見れ

大臭趣において遺骸なく経験され一紀の間において、膨悪となく斬ら

大日本帝國氏の眞面目は、右の二

日本は、日本人は、過ぐる一世

大型の御殺威を信じて疑はざる

と頭を打つた。けれども米だその

そこに、五・一五軍性が、がん

観そのものであつた。

一部に前側しついある半島において 一般的すべき事情である。 婦人の際

**う労力でよといひ、航野主義を選って返還ニョフで記むこの第6と改善し、突と力と低難とを得るや「娘として甘愛した。被勢は監然と改善し、突と力と低難とを得るや「娘として甘愛した。** 

この天通をも、天極をも、天の武

に、添り飾り行く時代の機相への化都市生長の姿に散感してゐる間 業家、教育家、藝術家、人みなが文

した。小師を亡へば色となことが この點は正に次國氏の面目を認識 二六事件に到しても治験であつた に到して奇骸であったやうに、二・

いへやう。しかし、大綱は沈治平一リマンの置縁部語の野心などにつ

いては、何人も思い及ぼすところしも、

重要な會茂鐵道

北鮮と裏間島開發に大きな貢献

撓まず運動を續げたい

バス運行の改善

揚村さん整理

知事會議へ

市民大會

処の舞

各務ケ原の

**凹機羅南** 

一九師團と聯合し

辯士と演題

下扱の大豆約七千八百畝、イ就は

の間々申込みがあり、 去る十

のうち邑四居住街の寄附が三分の 六日現在で四萬幽を突破したがこ たが今天の如く二張同日に岩海底の外間巨船は昨年来要次人能し

競別版に驟船を終った。大豆樹

江陵商業設

六號が既に何づけし回り

南美科、響作其經濟所以6出迎 正田保安部最はじめ近紫沢部団箱

引張り凧清津案内

て飛び、一叶年間つた三下部の一個

職僚者の見渡りの郷に顧り際派

長照湖高等源長、氷田羅南宮長、一節表を提出した

在一島城地水産協局の調楽

曾至十三萬三千七百年 叫

|| 王家九百二回といふ東字を | い」の外は見向きもせね威閣沿隊 | あるが、都訳の逃行に伊ひ賢地で | 【編輯】過酸北鮮総道高額協議で

しの試漁

ひしこいわ 廣島から進出

大羅津の將來を考慮して

い港都

性を労働し限性を際して記述、電

「温津」巡信質局では難謎の將派」るのではないかとみられてゐる

故大本巡查

地下線とする計畫 に假治した、瞬には下板坂崎窓町一段及輪岸部は古代柳井警郎附宅 經局夜七時五十分歸图台。 同氏の 野本部で氏の単に十八日 人命を数助した領職器の強聯番号

雄基已長

健康膨れず

辭表を提出

母政に益率した西衛を治氏は最近

すことは融省の一致してるに本総道が大きな貢献をもた

双字を恐げて関成しま

尾崎 そんなことは決してな

・八里、福興里の常智語関和館 | 在不明である

**農畜產品評會** 収穫は大きい

製作品目



豫期以上の成功を

喜ぶ松下總



たがこれが計量以來部下職員を改

所では翻手占郷を演じてゐるが一資料を盛つたパンプレフト四千部 と二十回ばかり野越し最も新し

任續に决定

役員も全部居据り

|清津|| 西東引その他についての「脳をもので、脈部所でもこの謎だ」質を豊茂を歴で概したの観察は北壁への金蘭的網心を例、土船で山水洋堂と雲林の現象は北壁への金蘭的網心を例、土船で山水洋堂と雲林

質長歌階のため簡見副賛長を歴



前十一時から行はれ、竹内知事以一段参加、軍部からも田中族が長、 郷と場合、楽吉町西方呂育林で午、下洋恋展覧一同、呂恵武、

の観保上的半月越れとなつてゐる

被尤級于五百個、朴曾极子國、 《海集三百國 · 保放 起二百十國、 《南集三百國 · 保放 起二百十國、 《南城 左三百國 · 公司 聚百五十國、 和城 在三百國 · 公司 聚百五十國、

**南津満鐵移管後の 埋頭の木材荷役** 木材商組合總會の意向は

現狀のまゝを希望

につき翻談の結果(一)について一般、異様は容量部で均衡を失つて いるので脱木、壁材共に容積度に



とてそれがく 熱に 大心境、 中別言 で野源大倉を 開

、 1 羅維他内の「わかめ」は

盛んに採取

わか

本 舗籃山本茂商店 東 編 蟹 本 柯 樂 房 代理 一 蟹 木 村 樂 房





||漢|| 南郎方面からの本府駐艇|| 歳られて午町十時半羅爾線長塩に

四機は十九日快崎の春空を南原に一

るはずである

京水縄したが、 更に甘れ、

爾日爾應方面の脳暫に参加、二十

同じ日に岸壁に横づけ

一汽船

歐洲向けの大豆積取り

勞働者

好の植樹目和

總勢五百餘名が繰出して

交々思つて意見を翻載、旗重闘討山本、田中、中村(脳)の諸氏が

大会国 (教員は) 大会国 (教員は) 大会国 (教員は) 大会国 (教員は) 中野市 (教員を) 中野市 (教員は)

一般を受税することになり、表1 本税名除 事から変層関数原に供くる年の閣 味から変層関数原に供くる年の閣 は被連帳念助長の意









<sup>ポンス</sup> シンド -

1000

都市上下水道用地では、ボアホールボンプ

設に光を投げかける思館場山呂

時間語に明報度生間に活

仁川」沿岸貿易と帰山郡重撃開

間の江口機起工式も同時に懸行す

西である(製質は使功した岸壁)

瑞山聖淵道

時から思復思温の埠頭で職大に継続路の開通式は十九日午町十一

所道路の完成に脳の力

長も脳や出際し、その他自民一百 紀珍監督局長、加藤雄事 出野的 を添べた島崎彦次郎氏の実際に動

さくらに憧憬れて

仁川月尾島スケッチ

0

ル年餘を費してやつと本年三月末

1年前十一時から郷大に驟行する

総工費は五十六萬二千

ル年間費してやつと**竣成** 

總工費五十六萬餘圓、

勞力四十二萬人

後朝鮮海洋は主催の祝賀蘭を開一行方法を考究中であったが光づ手一になった

初めに部内繋が、高等、保安の各

武道と駐籃の戦闘、常識の職業、し、陛下警察部長が頑長となって 融政自信名をもつて修設的を組織

人格修経を三大説則とし東道刷新

廿四日晴れの竣工式擧行

端山部空間の腰はひを見した

辞 一番楽に選手し六月早々開所の 愈と極山部押梁血は川洞に狭定大郎)低報、陸道湖域所の用地 慶北農訓 敷地を決定 開所は六月

開催 時から西二面単が所質統領で観異 時から西二面単が所質統領で観異 女養金組總會 [永營浦]

田来朝鮮の山は四地のでれに 被べて、郷木の質者なく、第 基しく恵は均無、烈で納恵継 、で、郷木の質者なく、第 をを整想せしめる。後本の のイキングを旺盛ならしめ るとを整想せしめる。後本の のイキングを正確ならしめ

少しこの方面への翻心を有すあるから鐵道關係方面でも今

ハイキング熱の高潮 愛林思想の普及期待

を味るといふ熱心なものさい

馬中の帽章

今月中に決定

る所である ・ 今日中には決定を見 派士百枚許りを借り受け、闘繁を 先反場山府軍領集の数集まった回転投を象徴するものであるだけに 海と競技してゐるが、まだ正朝後 加も脚定を急いでをり特に微量は 影響の決定を見ないので、層中當 【『一】馬中生徒百十名は愛知道

共同販資盛では八十三萬元この 價格中三萬三十百八十四個の多額 大な好能響を及ぼしたが、その改

行してゐるが、去る十六日には野 芸増殖の計畫は既設の通り音や能

中堅人物を集めて督勵

町歩、収極高一百七十七萬八千八、道文師の指示勝載等があつて引取町歩、収極高一百七十七萬八千八、道文師の指示勝載等があつて引取 して去年は作位反応千二百七十八一合意を聞き左記事項を認識し記憶 【園城】即の概作劉誠は年天武選一中堅人物二百五十名を召集し

のを終れて、路野遊で返を掘り和窓町、駅本地に午後五時戦略した一年更興順万針へ指揮施指導・一年更興順万針へ指揮施指導・一年更興順万針へ指揮施指導・一年、三山面(一等・下山面(一等・下山面(一等・下山面(一等・水馬面)上第・形名前

品評褒賞式を舉行

防犯デー

の番を葬跡に復罪が急戦に増え出

ぶにより二十 一の胸日を脱程デ ずので、仁川署では近醫祭部の指

隊伍を組んで荒す フラ跳梁 開始した。電刀街に必死の練習を

大に順病患者が著しく活集して授一に競売制査が設けられてあるが、 固城の住民大恐慌 |春殿と||健設を目標に日下位上木上代の下

のは更いが、朝夕二回三々伝々瞬、裏がの歌地は必然的に「湯油帯とり三四十名が探覚野野生活をする。き種属の歌能經師によって埋発穴配里の街道南回職あたり担を師取、既由馬山所来の生命続ともいふべ をなして校社里、大部里、西外前 | して略飾されると同時に宮崎、任 でなく語しきは市場に立入り野楽 等の各部落を横行して持縛の脛は | 宅、商店研究前然と統一され任み にまかせ平気に関ってゐるので、 **やを買ふに商人等に摂取りを自由** れるのを武器に金事を求めるのみ 良い南鮮の雄都として面月一新さ「になんと自二十餘名の版願簿が設」通常校で即内和作成良機等政治者 春の港に歡喜

変態なニエース-

一府の履貨採用

【大印】標花蹋漫春にこれはまた

員採用試驗 大邱府の雇

ではこの品を何気なしに置つて行 實に衛生上語ろしい行爲なので

築港擴張起工式に序幕

貿易二億圓突破も併せて祝福

レプラの手にしたとを知らない人

般の建立を窓いてみる **大馬山建設** 都計を前に 調査に大重

であつた極橋脳唯衆竣工と共に一であつた極橋脳唯衆竣工と共に一を紹介であるが、然に多年歴英校献立を契機として素明らしい微 「馬山」位近世場山の健康は中學

近代座

が土木出版研では京仁有志三百二 十名を招き記り前は東海道監督以 五日船大に排行することになった

地間最全の實施と相関って大馬山「智能立當時の關係もあるので原仁 れによって機師され近く都市や街 図の活点を出し、市街地形態もこ

を脆焼方面で一般の客前にまつこ。 一を肺せて応すこととに難し裏面 的の端鏡を駆し物に今年から毎年 上干五十七回で調定見込み窓の、 が近く第一回間鎖を囲きまま食の 総行に決定、接のあとをらけて港 年度の転職額は連続与那級が九萬 が近く第一回間鎖を囲きまま食の 総行に決定、接のあとをらけて港 年度の転職額は連続与那級が九萬 の常鏡を延め野緑 節は、月間飲く索難配質プロに芝 二干四十二回、 所起附加級が九萬 の常鏡を超越して地像を重めてある 高原環、十七日は水仁酸起に試を 解談は変数に那級が九萬 の情報を重めてある 高原環、十七日は水仁酸起に試を 解談は変数機として期かれる、今

開地當民國滿有應を委員にあげ協一に引続き十六日は仁川中最校を會一時所曾を招集了る事となったが、

▲別係登三 月 ・ 「主かの別)一・七〇五・八七歳 ・ 「主かの別)一・七〇五・八七歳 ・ 「主かの別)一・七〇五・八七歳

六錢▲次年度經越

協賛會で準備をいそぐ

郷京を団間・創造百八十餘名出席

脳脳した。和して今期の刺除金属 5で西部金融組合の第十二回定期

とになった、なは十五日の起工法一方面の興味もそくり春に名疑りを

八十八號一座五毛、本苑は一回に

帆船顛覆

街かつ×一大減栗城を坂出すをこ

人邱臨時府會

「公司」来る五月十二日、銀森か り質明へと様々しく原起した近代 五月信子ら 大邱で興行 普校生徒の職教に

と繁烈精神の高揚を削するため質「に拍明をかける意識込みである「藍山」拡撃銃部では寛紀の龍正」人権修道を三大訪児とし東北の

階寒で祟る

建築は順調に進み

港仁川有卦に入る

雨の後』「聖君三日天下」などを 岩の一行が来町、熊弥定町の「暗」 演することとなりファンの期待 「在非小板」及5一水

山硯を選

本府技師に折紙をつけられ

「大師」府では來る五月上印から

戶別稅查定

概要を扱った、関に昨年度は初め

學院で第六回總額を開降、終了後

[七川] 十九日午後五時頃富川郡

損害二千圓 船員は無事

降単の東北海上で内地式

舞鶴金組總會 17 板

て列除金三十四條(七分)配置す

船夫三名は辛ふじて難を避けたが 帆船が折舷の熱風のため順置し

記は漫水のため環臓の荷物や船艦

週間月間税等級登定に断し取っることになった

忠北の緬羊

見事な牡の仔羊が生れ

八日行方不明になつたので家人は

J

幼兒雲隠れ

鎭川を中心に奨勵

大邱青年團

が一萬七千六百六十五國をもつて「第一公職、仁川由學校、賢慈館な」を契機として先づ顧礼盟内の循帯」るながらも生産し触の方途を購じ 等につき脚蹠を選げたが分離電製 産出してあたがその受材に富んでの郷質を開き駅の選代・陣祭鹿第一部には古来、有名な常田穏をの郷質を開き駅の選ば、車祭鹿第一部一帯には古来、有名な常田穏を 新陣容成る

と続越し事業なく、新年度の問題。に至り、工費十萬国の壱両小学校・「職のと生じたが、建築方面は稲、萬四千二百二十八国・青手の頭び

**巻で五ヶ月以上も事業が避難し大 | 一平九百四十二回、西公監館館:【仁川】 附の土木事業は今巻の節 | 修成二千二百十六回、屠帝場一恵** 

に選手した、火熊増は多少連れた一も五月初り、その他高女、幼稚師

現までには竣工の復定で、公蘭宗 に増発受は修徽に取りかくることと戦を獲得際に行ふことになつた。 本年度は終月最別記録と母終って近代 改モダーン なものが 五月下 ども下機構が出来上つたので一斉 匿路撤降等に総謀せしめ公民経過 なかつたくめ長はなかつたので、

山間民の副衆総跡によっ収入増加、 
来る十八日から来道の上、 
観力 
の殿であつた 
まる十八日から来道の上、 
観力 
の参邦あり帝とに一歩戦けて一入 
の殿であつた 陰城、柳山地方の硯石材料を調査 當局でも愈よ本腹となり先づ附近 の普通學校生徒に対し極学教育の し有望性がある抗紙なつけたので 唱として視型遺を認動すること 三笠保石県可宣傳、維持基金等集

三等保存會

馬山で映畵會

ら社二頭、牝三十頭の顔率を輸入一部長の訓示、檀郷郷で、藤藤昌長 | 中間間を影響するため昨年瀛洲か | 荷郎長の金知事街郷代職・松川支

し追儺海縄で飼育試験中のところ

の記録あつて財政、引題を左の組 資を表彰後事務所内で鑑賞を避つ

【清州】直では農家副業として紅一併を展案通り可決、ついで松島内

飼育試験は上首尾

産み何市政器の良好なることを實 去る十八日見郷な牡の小羊一頭を

一九日の階景に各戸庭に戦闘を崇し急急。神嗣の巻紙は例年の通り 市内も大々の法師を随し絢爛の

盈徳の春祭

管、映画館を小気技術等で開催す で、裏山屋では加土艦の下に購続 月二十二日城水馬の陰定であるの のため同飯鹽託加藤海軍大佐が本一 制二十五頭が生れる豫定であると

方西各里、▲佳良賞、文岩里外新城、休岩、佳中、孝村、新桥▲優良部落優等賞、栗陽、農村

「『小」上版金載では大早前 四台引下げを決定銀行の利率引下 【美山】 隠魔道内の金融組合では 日より定期預金年利四厘日指 と均衡をとり即日實施した 上黨金組總代會 廿日から實施

> の縁を馬主服 【就智】

三時半から鳴兵樓で自己宴

に対し永同警察者管内受險者數

(派で行はれる本年度徴兵権者(永局) 五月二十三日大田第三

See Prot

意外な難症となります

京東●阪大

會商平丹 愛麗

慶南で夏期講習會

五ヶ所で開催決定

「華山」 雌背県生のため際南では「の指導物質と整統和指導、職業の「一華山」 雌背県生のため際南では「の指導物質と整統和指導、企業の 

「釜山」林底の部院化をはかるた **慶南栗接木講督會** 

る。日は遠くあるまいと題待され、戦し、大学教門教徒出身等も交り。る人十二名に動して二十二日午前である。 の記載で 秋五十名は最少帯され窓 | 仏用する密である。 固城の棉作評定

一十、一兩日

過勢と刺戯から充血した重い脳を (V) 元 加 を去れ

鎖辯させる好機は今! 頭痛薬は一時押へ

大邱西部金組總 醬

脱神経を麻痺させる頭痛薬支けの 脱神経を麻痺させる頭痛薬支けの 照前を消散して常に面壁を明快にします。 他便を懸く、疑の安臓に響くと共に、肝症 に関すをして、疑の安臓に響くと共に、肝症 を関すて、健の安臓に響くと共に、肝症 健脳丸の綜合効力















神の変数で中、関、卒・中・関、卒・中・関、原、逆上、便秘・不能



をするのは危険です、全身に波及し無暗に刺戟の强い薬や、姑島な治療

対はたけいひぜん、いんきん、かゆがり

隆一・健十五・鏡五十三 僕桑

りあに店職屋全

(司灣 時间網路一页)

率促

170)

あに店藥國全圓九

# ・葉緑素・植物まれ 学 にきれたるは洵に興味ある事實ご云はねばなる等に結核性貧血、消化器性貧血の治療に應用せれる癌腫をも快方せしむる作用が 薬絲素に見れる癌腫をも快方せしむる作用が 薬絲素に見れる連行を防げ、一般状態を頗る可良ならしめたは軽快せしめ(プは癌治療上の契例である)癌は軽快せしめ(プは癌治療上の契例である)癌は整快せしめ(プロ療法を関しての多の進行を防げ、一般状態を頗る可良ならしめたり、手術不能の状態であつたにもれる種種を消失。一・フィッシャーは、更に薬緑素を癌腫のの進行を防げ、一般状態を加るが、ウイルス・ディンをは、対しているのは、対しているのが、ウイルス・ディンを対している。

が、科學は之に應へて、細胞原形質旋回運動の實 と異こして、植物體に於ける運動の缺如を舉げん 大を観察眼を以て、動物と植物の最も顯著なる差 た世界が在るのみであると喝破してゐる。通俗な 中世界が在るのみであると喝破してゐる。通俗な 中世界が在るの神は、科學の視野に於ては、動物とか植物 \*\* するの困難に澄著するのである。されば或る學の著しき差異なしど云はんよりも、兩者を臨別嚴なる科學の觀察下にありては、兩者には何等論、兩者に明白顯著なる差異や認め得るも、峻論物に動物は通俗なる觀念を以て看れば、勿 表

が闡明されるに及んで、葉綠素は、諸種の疾患 のであるが、複雑なる植物體の機構中にありて も、葉綠素の作用は最も巧妙を極むる處である 似の事實 さら四個のピロール核を有つてゐる。即ち、兩者 は一、葉綠素の作用は最も巧妙を極むる處である は、葉綠素と血色素が類似の なん 単れ のであるが、複雑なる植物體の機構中にありて は 単に運動なる一事を以てしても、複雑なる生 質に運動なる一事を以てしても、複雑なる生 質に運動なる一事を以てしても、複雑なる生 質に運動なる一事を以てしても、複雑なる生 質に運動なる の非を熨するであらう。
の非を熨するであらう。
の非を熨するであらう。
の非を熨するであらう。
の非を熨するであらう。
の非を熨するであらう。 し、病療細胞を刺戟して更生せしめ、以て治癒植物ホルモンの强力微妙なる力を入體に應用

期的薬物に賞揚されるに至つた。薬絲素が貧血ギーは、果して俊敏、適切の治療成績を示し劃研究所であるが、その研究の成果たるネオネオ 至大の興味を投ずるものであらう。 淨血の効果を高唱されつ♪ある點は、 ルモンも亦、その多汎なる作用中、特に増血、療法としての効果に對し、その根元なる植物ホ 能力を向上せしめんど研究したのは日本微生物

血液循環系統の圖

動脈系統

胃腸湯 合人

を帰 け主義の品や、効めの薄いものを限され まづ製品の内容に充分の検討を加へ、請 ら愉けられるかー

やうに心証けられたい ネ オ 末 才

物の発明が、三十年の経験を占能にし、 て、陸襲界にも信用を得てゐる日本領生 表方の限力を必ひ、また、わざれざ所食 無難を削するために、さらに<br />
取留での<br />
製 を驀進に耐重して、その結果やうやく出 ポーなる戦物は、治病戦的を信仰とし

ずに知られたいと思って、研究所の終帯 をしても、わが日本の病弱者一人のころ 研究所は、この繁砂だけは、どんな事

病菌との腕筋は、一般に常臓化されて 白 血球と

構筑といふものは統局力に乏しい幽を閉 「整線レヤイく、加を汚し、肉を強みて、代金別費似で売送する。 送着は断笑前に鳴っかい。 があって、一ば、元大る異常小石川瀬田百音十六条四番の語と、一ば、元大る異常小石川瀬田百音十六条四番を繋が掘く 歩い 鷹であって、結髪蘭も日 あるから、 ために、器官の働きは難くなしこと。病職は器内で概率を分泌し、一眼りに 遊以外のいろいろな病菌も同ってく、肌を汚し、肉を触みや に乏しい過とは、つまり白郎 しれ以上記く必要もないが、 眠り 展替東京 五六八 二一香へ 沸込みの で資捲する。海外と植民地からの申込に

が脈系統

(NX-)

内閣語館のすべては、血と微をつくるた ない。勝も心臓も、胃もある、その他の を病態から解謝する製質であるが、ネオきを有つてゐる。つまり白眼球は、人酸 特に白龍城は、病菌を殺す重要なはたら 心臓のいづれ ある個が健康値であることは云ふまでも できる。墨部に「生命の裏である前」と い。高級があるが、清潔で豊富な血液が 肥後の中には配塚があり、白面郷、赤 もそれぞれの欲目があるが

数が増し、作用が評潔になつてくる。ネオギーの服用によつて、この自能感の

購入の注

て代金川管便では送する。
送料は研究所 | 月燈砌金一圓五斗錠、徳用は金三回、 | ホオネオギーの價格は三百六十陷入約 (路口) 申込の時はハガキを削製

力 サラリ どう

形容嗣入りで宜催するが、薬物だけは他 あるものである事を思へば、服用額は、 のものと違つて、毎には生命にも影響の 代で、唯告されすれば既る程度は人が勝 はすがない。今の世の中は京陽軍能の時 出渡して拵へられた物に立派な品がある つてくれるから、どんな話でも最上級の ーカラーた脚様から も面注意ねがひたい。

**應り、今までの方法ではだめであつた弱** 

い鯔も、これで丈夫になつてくる。

定の字節に、複雑な工程を超て撤出するれてゐるが、特殊なる強靭植物から、一 るから、さうした模倣品には、くれぐれ 方法は、他では異似ることは不可能であ ギーこそ。人體の増削版といふことか ネ オネオ

ない。とするのが特長であり、新しい殺見とされ、とするのが特長であり、無気を設け、病気を設け、病気をおせつけれ鑑してい、病力を中止したら、また脈を丸側に加足りするでした。 がことに位きる人も、これを服み出し、 物ごとに位きる人も、これを服み出し、 ・ 從つて食慾もはに進み、とても実味しくられるのであるから、胃腸の疲弊も治りられるのであるから、胃腸の疲弊も治り、 他の組織の中に良い血液がソクゾク这れてゐる點である。 めに最も好過であらう。彼れやすい人、もめとたい病後の人には恢復を迅めるたなる。質嗚の弱い人にはぜひ服用をおす

理解されると一層明白であるが、 ネオネ の理能は、上掲の小論説をも参照の上 增血

るだけの試験をしてゐる。けれども、か うした私共の護拳なる耳傳が、もしも、 が許す絶論で 私共はじつに心外である。 と同一説され、職みられな 新渡見物が、ホオネオギー 物水儿 微伏結核酸は大量の人が持つてあるのだ はさかんに恋素を分泌してゐる。しかも から、その世後はまつたく描ろしい。 動ホルモンの増配作用は、液伏してゐる 病しなくても、惟称で消伏してみる敵 核 は 發

新聞や維語の上でも出来り、組織は老際し、配々の疾気を聴する

国に上り、帝國の國防第一線の間 偏を完了した、この献金器は最近 ョ渡りとして改多の軍器を購入所 防空間が関の献金額は約四十萬 機然を極 株屋町 騒がす が、近く朝鮮から数十頭の作業大佐頼して、軍犬買上方を申請申だ 成事業の襲進のため特に觸東軍に一記入した明細器を朝鮮軍司令部は

ひ台百騰牌に加眼になってゐる都五十三名の朝鮮人を一綱打器に後端にた。一味は台百萬智税で、各刑事が分増して取職べ中だが被黙 一日の腕続手12二日目を脚し、一尊破職を行った、年後二時半二見前法土代指揮の下に谷追鞭革節長以下鞭革は魯出戦、明治町を襲機で、一方被緊衛は鏖殺器に泣きつくものがあるので、本町器では歌平台百階演の橋器を決定し、内伽中の處、態と腹が親したので甘儼正皇城明治町の梯間賦に小金を持つた勇野人蓮を相手に露んに台百騰機が行はれてゐて、このため附近、帶空架にも支鵬をきたす有儼正皇城 合百賭博の檢學 防犯デー二日目・本町署司法の活動で 味五十三名を敷珠つなぎ

總裁官殿下が台臨 繪畫館完成記念式 聖畵八十枚を飾る

郷・同三十分御代娘館はしく御師を賜はり、同三十分得馬館画を賜はり、同三時二十分得馬館画

る壁跡八十枚の完成記念式は、二した明治天星の御賀梁を記念し奉 り全國艦戦の巨匠が奉任して完成

側伸軍是國部城を懸立させる戦

日午後二時半から神宮外苑里

き友の酸何處よ

漢拏山に消えた前川君を

響眼本部を置き策戦をめぐらせて のるが、本社ではこの大合戦の前 人気に題へる鳥め、特に二時半か (金銭) 大塚 (戦急) の附版館に、城上た金剛。 収益の刑事は能に 開場する が計解文は同語山、東部、水管浦込みは廿三日午後四時限り京城府 二時府民館中職党で開催する、申|に二千五百國で身致りしたのを男 京城西蔵館頭の発起、廿四日午後一陸近男が事業に失敗し、女が大連 局長这能質は伊雄豆城府野、賀田 北海道長官に禁醐した他田前警務|諸抱廷が子事簿井リウの二人、二

作下権軍(®)女は大連製造町松第 あつた――男は大連初着町半桃価

をのんで苦しいと訴へ出た男女が

八時頃安東圏に駈け込み猫いらず

年則東京で結析生活をして居たが

様別スポーツ繪卷の展開! 本社主催・四月二十二日から京城球場

符望のこの試合

豪華仕掛け花穴のダイアモンド、

入場料を半額

何起へ點火かって、如何に炸器する の京城連動場に張りめぐらされた の火蓋は切つて落されるのだ春秋

金鯱、阪急吳越同舟し入城

を經典に長延順市。廿二日午後人つて、第五(午後七年二十分後山 督の撃るる名古墨金銭車と四然遊 監督引率のもとに廿一日夜釜山上

釜山に先むしてるた間田器監

へ入つた 朝鮮ない。 金銭車は池尾原銀 三宝南比の宗座ぶりは、はじめて

開戦の宣告を行つ限

ある大説台をみせるであらう

十一日午後四時半

将に火蓋切られんとす

各出版所宛質費二回と共に申込み のものであつた、二人共危罪が追駆けて來て足扱きさせ逃走中 おめでた

城骨葉町三丁目の十字路で平穏町「衝突」廿一日午後五時半頃京

遊園 五門五十

一座打 田所、恒川 小玉分談合時間 一時間四十五分

洗濯されたウオーミングアップ、を防ぐ一方、職業チームとしてのを断が増を開けて関係自由の溢離

1トノックなどを十分に襲られ

一初めてみた電車で 自殺を企 京城に來た田舎婦人

り入場税学館五十歳です - 「職会が辿すると財政に登録したま、満回季委良さんの実施をなん。」 大・大心として場内を開放し一個 古一 十二日午後五度協立場の前針 州分間電戦中自動地が立程生したとするが、小婦生とそれ以下の子 十字路の高地航近上州総位の朝鮮 州分間電戦中自動地が立程生したとするが、小婦生とそれ以下の子 十字路の高地航近共総位の朝鮮 州分間電戦中自動地が立程生したとするが、小婦生とそれ以下の子 十二十字路に続いると、電信製人と めたが汽車は転り怖しいので生れ家出、廿日入城して死の帰所を求 =何れも仮名=天が虚符するので て初めてみた小さな電車で自殺し うと思ったと云つてゐる、**網路** 城大文科を卒襲平龍昌晋に敦襲を続大な茂盛延を開く、新郎は今春 を影げ式後七時から朝鮮ホテルで

京城第二島女出身の北坂である

● 指間水虫・股間いんさん

題を手足のア

L

東京部田花島町 山崎 日 国営 東京部田花島町 山崎 日 国営 田 1 日 1 日 日 日 日 1 日 日 日 1 日 日 日 1 日 日 日 1 日 日 日 1 日 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 日 1 日 1 日 日 1 日 1 日 日 1 ムズガユキ皮腐病

13 には、 ・ 一部によりでは、 ・ では、は、のでは、 ・ では、は、では、 ・ では、な、では、 ・ では、な、では、 ・ では、な、では、 ・ では、な、では、 ・ では、な、では、 ・ では、 1111一切開係無之此段急告候也松能喜今回都合ニ依り解雇致シ候の 生 |関へは密強いたします。前全能文の場合の節は振響又は代金削換にて直接表更元名原居にありばロールミ都指示を乞ふ | 萬病を治す (便 that de see 发) 十四五十號 逐科 女 中 。 第方銀行以家族五人 第方銀行以家族五人 地灣商店住宅好適地 地灣商店住宅好適地 粉町扱道六十條坪整 告に配り特に雰囲にて掲載すり間五十銭度名は一回毎に五十五歳店子十五字店一回年に五十五歳店子十五字店一回五行一 恩 ※ 京日案内 膿店 女 特别拿贝 年金 特別立替 第二十 入明 大井蔵以上 第二町一丁目 新 田 **電本一三六八番** 

## **社部館では且下構築中の場合が近、総は今村が朝鮮の観點に不幸があ「買いて二十一日今井田蔵弥隠記は」窓は並産となる模様である社部館では且下構築中の場合が近、総は今村が朝鮮の総めてゐる、誤笑窓」の動向は迷聴されてゐるが、右に「行かないといふ理由のもとに、警事内側簡単感耐されたいと、な を行び解唆に究めでゐる,誤笑窓」の動向は迷聴されてゐるが、右に「行かないといふ理由のもとに、** 半島特殊事情に鑑み 利川生れ住所不定的科二班取刃領 四語を知つたのでこの芝居をやつ一郎の末辺増された、同院人は去る 刑務所志願金がなくて

頭間を終し所持金がなく

け取りに来た男を描へ取調べると

っきつ

本町

北島友太郎

脂种經科 內村以后

たぎる愛國心

に配布する部である

防兵器購入費や慰問金

空天狗得今村野一、大久保運養

甲府電台 山梨縣中百雕都敷島

朝鮮歸りの人

天然痘

四年間に八十萬圓を突破す

情婦つれて逃走

光子の数館の

**特器** 等院

日「京日壁」を迎れて神戸に向ひ日「京日壁」を迎れて神戸に向ひ

下日本に於ける最優男犬で曾て

るため管域主任加藤忠氏が去る十 **| 位献的軍犬『京日號』の種付をす** 

朝鮮藝備大場改成館では本一級に武器作次を働く男、金北生れ

墜秀犬ミ交配してかへる

待望の京日號一世

釣り銭も持ち逃げ 二人組み犯人捜査中

即八時者列車(安東行節九列車京城午後十一時十五分發平應午

2六時廿五分(举天行第五列車

職業結合所を郷一持つて自宅まで間直せよといるの て行くと、豊成町の辻で竹八銭位 の男が現れ学者からカイダ十箇を 澤村源之助丈

経過と当大社京城支局では今回鮮

台同鴫打會

最地方で行ふことくなったが、躍 いなり、五月上旬安東縣五龍背温

一般の参加を希望してゐると平則等で詳細組つて確認する

唯一權威の銀內服劑

李書に對し「釣銭をとられては次」即支は二十日明容に思化、午後四 繋だ』といって八圓五十錢をあつ | 時四十五分下谷祖最帯の自宅に於 | 例人が計談的な仕事なので舗路岩 | 年間の長い鄭徹生語であった デタ年の間をみてこれも逃走した かり、カイダの代りに朝日二十箇一て水脹した、亭华七十八、明治十 取りに解れと引込させる途中、 五年四代月頭之助を腹名して昨年 「米京電話」梨園の古老得村頭之 他より二十餘名参加、朝鮮側は京

日電池] 二十日午後 |下景氏の長男茂君(三)は膨木城大 猫いらずのみ警察へ

長脳井磐氏次女光子さん("コ)と所 教授夫妻の場的で元工版主義が限

**毓謹腺炎、睪丸炎、卵巣炎細菌尿尿道炎、子宮內膜炎、女子淋疾、急慢性淋疾、膀胱カタル、急慢性** 

ľ

明大勝つ

安東で心中

働きぶり

本紙一萬號記念三一面懸賞一等當選

安昭<sup>1</sup> 11昭 丸丸 丸 丸

一七八番 (和出)

路 航

東洋丸 群山岩港 (船を御町) 製料案内害御送り 製売賃客船ニシテ 製売賃客船ニシテ 船株式會社 !!者王の海 帆出日毎 証 川仁 第三○一時電

d •

個 五十渡 全部の単一年

國資運體支出

北韓西姆祖 語 水 行(急行)每日 中的九時中 部 水 行(急行)每日 中的九時中 市 元 山 行 陽日午前十時八時一回 市 元 山 行 陽日午前五時出場。 同 日 九日十五日十日十九日 朝鮮汽船出帆廣告

語語語所有

御鮮運送支店

日夜十二時出帆

答。山 行 各带奇迹 班日午後八時 管州行道航機 "常韓日午後七時 更遇り、十六日二六月十八日十日

アンドロスチン

◇ 神經衰弱。 ヒステリー・健忘症其他鑑て ◇ 體内細胞の新陳代謝機能を高め 髄力精力

◆ 病後恢復期・小児の鍵育治進・ 受験期の

器の連行を抑制す。 結核風者の初類に奥ふれば 変弱を 防ぎ病

經衰弱 治療劑

株式會監

木

村

樂

房

愉快に働かれます

燗として世界的に賞用せらる。(錠剤・粉末)の第一線に立つべき健康の要素を入醴に賦與す